

社債スプレッドの変動要因について ～ 2つの金融危機の経験から

白須洋子*

概要

本稿は、1997年から2010年前半までのいわゆる金融危機時を含む時期における国内社債流通利回りの対国債スプレッド（社債スプレッド）変動を実証的に分析し、その変動要因を明らかにすることを目的としている。分析の結果、社債スプレッドを説明する要因としては、信用リスクのみならず、銀行のリスク回避行動、2つの流動性の要因が並存することがわかった。社債スプレッドに対して、銀行のリスク回避行動は低格付けほど強い影響を与えること、また、時期的には90年代の金融危機の時期に市場流動性及び資金流動性の影響が強かったことが判った。90年代の金融危機時には2つの流動性が社債スプレッドに影響を与えているが、近年のリーマン・ショック以後の時期は市場流動性のみしか影響を与えていなかったようだ。

* 青山学院大学経済学部 shirasu@cc.aoyama.ac.jp